

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察情報について

このことについて、発生予察注意報第7号（イチゴのハダニ類）を発表したので送付します。

病害虫発生予察 注意報第7号

- 1 農作物名 イチゴ
- 2 病害虫名 ハダニ類
- 3 予報内容

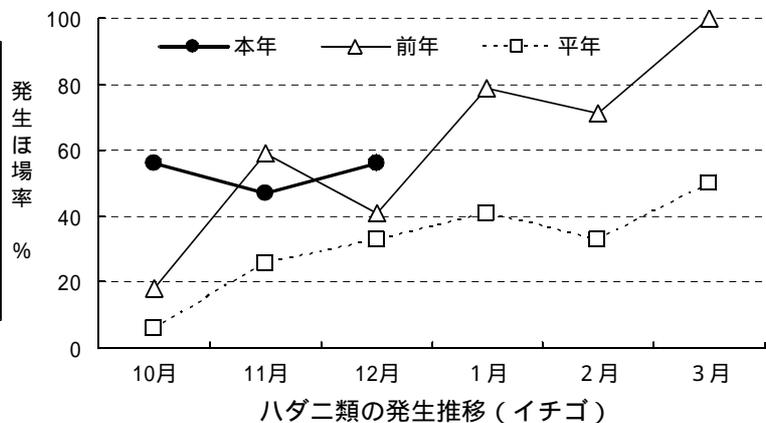
- (1) 発生地域 県本土
- (2) 発生量 多

4 注意報発令の根拠

- (1) 12月中～下旬の巡回調査では、発生ほ場率が56%（平年33%）と平年より高く、寄生株率が70%を超える発生程度の高いほ場もみられた。
- (2) 例年、1月以降発生が多くなる。
- (3) 向こう1か月の天候は晴れの日が多く、気温は平年並か高いと予報されており、今後も発生しやすい条件が続くと予想される。

表.ハダニ類の発生状況

調査場所	調査ほ場数	発生ほ場数
日置市伊集院	5	2
さつま町湯田・平川	6	2
志布志市有明	7	6
計	18	10(56%)



5 防除上注意すべき事項

- (1) 冬期はスポット的に発生し、下位葉に寄生が多いので早期発見に努め、発生を認めたら早めに防除する。
- (2) ナミハダニの発生が多く認められている。本種はカンザワハダニに比べて見つけにくいので、収穫作業時等に注意深く観察する。
- (3) 寄生葉は、ほ場外に持ち出して処分する。
- (4) 防除効果を高めるため、薬剤は下葉かきを行ってから葉裏にかかるよう散布する。
- (5) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤のローテーション散布に努める。
- (6) 薬剤によっては、ミツバチに影響があるので薬剤の選定に注意する（農薬使用の手引き野菜編53頁を参照）。